が足に（疲労が）来ていたので、動かしてチャンスに攻めた。ミスにも助けられた」。

1部女子シングルスを制した帯柏葉の齋藤江里

前回はダブルスで出場した道選手権だがシングルスは初めて。「ショートサービスからの展開や、逆を突かれたときの1本目の対応など日々の練習をしっかりこなし、大会で（その成果を）出し切りたい」と話していた。

力合わせて成長

1部女子ダブルス優勝の大友千種・六日市萌組の話 これまで共に先輩と組み、頼ってきた部分も多く、ダブルスとしてうまいわけではない。互いに学んできた部分を足して力にしたい（大友）。インターハイに同行するので、上のレベルの（選手の）足の運び方などを学んできたい（六日市）。

1部ダブルス入賞組。前列右から田中・上田組、大友・六日市組、田中・伊藤組、相川・長谷川組。後列右から高橋・高谷組、小川・白川組、佐々木・下田組、衣原・下尾組

1部シングルス入賞者ら。前列右から大友（推薦選手）、廣尾、齋藤、白川、小川。後列右から黛崎、六日市、高橋大、佐々木